

介護コラム # 12

「認知症の基礎知識 – 認知症の診断と治療」

「仕事と介護の両立支援」の一環で、コラム形式の「仕事と介護の両立ガイド」を発信いたします。

突然の介護。介護はいつ始まるかわかりません。

仕事と介護を両立させるためには、いざというときに備えて、介護が始まったらどこに相談するかまず何をしたらよいのかといった事前の知識が必要です。

定期的に情報提供を行い、仕事と介護の両立に向けたきっかけづくりをしていきます。

今回のテーマは、「認知症の基礎知識 – 認知症の診断と治療」です。

アルツハイマー病をはじめとする認知症の原因疾患に対する原因・治療・予防の医学研究が進められています。残念ながらその根本の原因はわかっておらず、完全治癒することは現在のところできません。

「家族が認知症かもしれない」と思ったら、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

まずはきっかけづくりとして次ページをご覧ください。

【お問い合わせ先】 日野自動車福祉共済基金 042-586-5236（内線 81-5236）

fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp

仕事と介護の 両立ガイド

介護でいちばん大切なことは、
「仕事を続ける」ことです。
あらかじめの知識や工夫と行動で、
「仕事と介護」は両立できます。

認知症の基礎知識

認知症の診断と治療

アルツハイマー病をはじめとする認知症の原因疾患に対する原因・治療・予防の医学研究が進められていますが、残念ながらその根本の原因はわかっておらず、完全治癒することは現在のところできません。

「家族が認知症かもしれない」と思ったら、まずはかかりつけ医に相談しましょう。かかりつけ医が認知症の専門医でなくても、そうした専門医を紹介してくれます。かかりつけ医がいない場合は、地域包括支援センターに相談しましょう。

認知症検査と診断の流れ

診断は、問診、診察、検査を経て総合的に判定されます。このうち、重要なのは問診です。医師は生活状況、既往歴、服薬状況などを聞く他に、本人の動作や歩き方、挨拶のしかたなどを細かく観察します。家族は、いつごろ、どんな状況でどんな症状が現れたかなど、具体的な情報をメモしておくことで問診がスムーズに進みます。また、本人は問診では普段よりしっかりとした受け答えができることも多々あります。普段の生活の様子をきちんと医師に伝えることが大切です。

診察では、体温、血圧、脈拍、呼吸などの検査や、四肢の運動や感覚障害など神経学的な診察などを行います。頭部のCTやMRIの画像検査では、脳の委縮や脳梗塞・脳出血の有無などを調べます。どのタイプの認知症かを診断するのがSPECT（スペクト）による「機能画像検査」で、脳の血流の状態を調べることで認知症の原因疾患を診断します。また、認知症簡易評価スケール「長谷川式認知症スケール」が認知症の診断に広く利用されており、認知機能の低下を診断する際の参考とされています。

「長谷川式認知症スケール」ではこんな質問をされます

- 問1. 歳はいくつですか？
- 問2. 今日は何年の何月何日ですか？ 何曜日ですか？
- 問3. 私たちが今いるところはどこですか？
- 問4. これから言う3つの言葉を言ってください。
あとの設問でまた聞きますのでよく覚えておいてください。
- 問5. 100から7を順番に引いてください。
- 問6. これから言う数字を逆から言ってください。
- 問7. 先ほど覚えてもらった言葉(問4の3つの言葉)をもう一度言ってください。
- 問8. これから5つの品物を見せます。それを隠しますので何があったか言って下さい。
- 問9. 知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。



薬による治療と、薬を使わない行動療法

認知症の治療方法は基本的には薬による治療で、原因疾患そのものの治癒ではなく、進行を遅らせることを目的とした「抗認知症薬」が使われています。

高齢者の場合、認知症そのものに対する薬のほかに、降圧剤、糖尿病薬、脂質異常症薬、向精神薬など複数服薬することが多く、ケースによっては副作用が無視できないものもあります。医師と相談しながら、向精神薬などは特に最小限度から始め、状態を観察しながら処方を受けるなどの注意が必要です。

抗認知症薬に期待できる効果は100%とはいきません。一定期間を過ぎると症状に応じて処方された量を服用しても病気が進行してしまうこともあります。薬を使わない「行動療法」には医学的な立証は難しくても脳を活性化させる効果があり、認知症の進行を遅らせ、周辺症状を改善させるのではと考えられています。本人がよく聴いていた音楽を流す「音楽療法」、ペットによる「アニマルセラピー」、絵画や詩、俳句などに取り組む「芸術療法」など、自宅でできる行動療法はたくさんあります。本人が好むもの、楽しめるものを選ぶのがポイントです。

仕事と介護の両立相談窓口

「私の場合はどうしたらいいの?」「職場の仲間が介護中。上司や同僚としてどんなアドバイスをすればいい?」など、個別の疑問や悩み、困りごとは「仕事介護の両立相談窓口」にご相談ください。

0120-344-455 受付時間 月～土9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）

Work-Care@benesse-senior-support.co.jp